



日本商業学会 第14回

マーケティング夏の学校

§1. 開催目的

本年度の夏の学校は、「研究スタートアップ：研究の進め方とネットワーキング」をテーマに開催いたします。研究活動の初期段階においては、基礎的な知識や方法論の習得に加え、同世代の研究者との交流を通じて、将来的な共同研究の萌芽となる関係性を築くことが重要となります。こうした機会を参加者の皆様に提供すべく、研究の進め方に関する講演や相互交流を重視したプログラムを2日間にわたって実施します。

§2. 募集要項

- 日程: 2025 年 **9 月 1 日 (月)・2 日 (火)** の 2 日間
- 開催地: クロス・ウェーブ船橋 (<https://x-wave.orix.co.jp/funabashi/>)
- 参加費: **15,000 円 (※別途, 学会から補助が出ます)**
- 募集定員: 35 名程度
- 参加資格
 - ① 大学院修士・博士課程在籍者
 - ② 博士後期課程修了・退学から 4 年以内の研究者
 - ③ マーケティング関連分野の大学院進学志望の学部学生 (※指導教員に要相談)
- 参加申し込み方法およびスケジュール
 - 2025 年 **7 月 18 日 (金)** 申し込み締め切り
下記事務局宛に、メールでお知らせください。**メールのタイトルを「夏の学校参加申し込み」とし**、本文にご所属大学とお名前を記載してください。事務局で確認後、参加申し込みフォームの URL を返信します。
 - 2025 年 **8 月 25 日 (金)** 報告資料のアップロード締め切り
 - ✧ 報告資料は、セッション (1) で使用します。
 - ✧ 3 分程度でご自身の研究および関心領域についての説明できる資料を PowerPoint を用いて作成し、提出してください。

申し込みならびに問い合わせ先:

マーケティング夏の学校事務局

jsmd.summer.school2025@gmail.com

§3. プログラム

第1日目	9月1日(月)
12:30-13:00	集合, 開講式, 学会副会長挨拶【芳賀康浩先生】
13:00-15:30	セッション1(1): 参加者による研究関心の発表
15:30-16:30	セッション1(2): 参加者同士のネットワーキング
16:45-17:30	セッション2(1): 国際性を活かした研究者としてのキャリアデザイン 【講演者: 高橋郁夫先生】
17:30-18:00	セッション2(2): 質疑応答
18:00-18:30	休憩, チェックイン
18:30-21:00	夕食, 懇親会

第2日目	9月2日(火)
7:30-9:00	朝食, チェックアウト
9:00-11:30	セッション3(1): 学会誌の紹介(流通研究とJSMDレビューの編集長)【須永努先生】【金雲鎬先生】 セッション3(2): 学会誌に投稿経験のある若手研究者による経験談 【西川みな美先生, 堀口哲生先生, 西大輔先生】
11:30-12:00	閉会式
12:00	解散

§4. 各セッションの概要

セッション1 参加者による自己紹介・研究紹介およびネットワーキング

- アイスブレイクを兼ねて, 参加者同士で簡単な自己紹介・研究紹介を行います。
- 参加者による研究関心の発表は, 1人あたり3分ずつです。
- ネットワーキングは, 少人数のグループに分かれて実施します。

セッション2 研究者としてのキャリア形成

- 高橋郁夫先生をお招きし, 国際性を活かした研究者としてのキャリアデザインについてご講演いただきます。

セッション3 学会誌の紹介および投稿経験のある若手研究者による座談会

- 流通研究およびJSMDレビューの編集長をお招きし, 学会誌について紹介していただきます。
- 学会誌に投稿した経験のある若手研究者に, 投稿経験(e.g., 研究計画, 査読対応)を語ってもらいます。

§ 5. 講師紹介

高橋 郁夫（青山学院大学経営学部教授／慶應義塾大学名誉教授）

慶應義塾大学大学院博士課程修了単位取得退学。博士（商学）。杏林大学，東京経済大学を経て，慶應義塾大学に 29 年間勤務。慶應義塾志木高等学校校長，慶應義塾常任理事を歴任。2023 年 4 月より現職。日本消費者行動研究学会会長，日本商業学会副会長を歴任。現在，日本消費者政策学会（理事）。専門：マーケティング論・流通論・消費者行動論。著書：『消費者購買行動—小売マーケティングへの写像』（千倉書房／日本商業学会賞奨励賞・慶應義塾賞），『小売経営論』（共著／有斐閣），『入門・消費者行動論』（共著／有斐閣）など。その他，Journal of Business Research, Australasian Marketing Journal, Psychology and Marketing 等で論文掲載および特集号共同編集長を歴任。海外歴として，ノースウェスタン大学大学院博士課程特別留学生（ロータリー財団奨学生），コンコーディア大学，ワシントン大学で訪問研究員，モントリオール大学，サンノゼ州立大学，ウィーン経済経営大学，北京外国語大学（国際交流基金による派遣），アライアンス大学（インド），西江大学（韓国）で非常勤講師ないしは招聘教授歴がある。



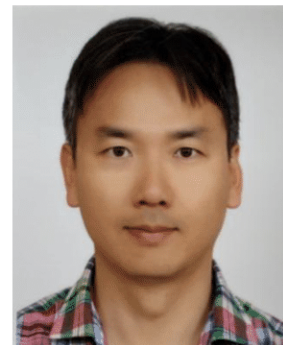
須永 努（早稲田大学商学学術院教授）

早稲田大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得。博士（商学）早稲田大学。千葉商科大学，関西学院大学を経て 2022 年より現職。日本商業学会理事，日本消費者行動研究学会理事，日本広告学会理事，内閣府認定マーケティング検定委員会委員，流通研究編集長などを歴任。2006 年日本商業学会学会賞優秀論文賞，2019 年日本商業学会学会賞奨励賞受賞。Psychology & Marketing, Journal of Business Research などに論文掲載。



金 雲鎬（中央大学戦略経営研究科教授）

神戸大学大学院経営学研究科博士課程修了，博士（商学）。山梨学院大学，日本大学を経て，2025 年より現職。日本商業学会関東部会代表理事，Industrial Marketing Management のゲストエディターなどを歴任。『JSMD レビュー』編集長（現）。2005 年日本商業学会論文賞受賞。『流通研究』，Industrial Marketing Management, Journal of Retailing and Consumer Services 等に論文掲載。



西川 みな美（文教大学経営学部講師）

2023 年，中央大学大学院商学研究科博士課程修了。博士（商学）。専門は流通論。流通研究第 24 巻 2 号に「チェーン小売企業の出店戦略：競争的出店 vs. ドミナント出店」を掲載。



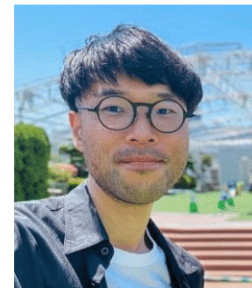
堀口 哲生（東洋大学経営学部講師）

2020 年，慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程を単位取得退学。博士（商学）。専門は，製品開発論。流通研究 22 巻 1 号に「新規性の高い新製品開発においてプロジェクト・メンバーの意思決定が成果へ及ぼす影響」，流通研究 27 巻 3 号に「マーケティング・ユニットの企業内での位置付けが探索的な市場学習と急進的な製品開発に与える影響」を掲載。



西 大輔（拓殖大学商学部准教授）

2019 年，神戸大学大学院経営学研究科博士課程を修了。博士（商学）。専門は，ユーザー・イノベーション，マーケティング・コミュニケーション。流通研究第 27 巻 4 号に「パッケージにおける環境配慮の訴求—環境ラベルの種類と効果—」を掲載（西川みな美氏との共著）。



運営委員会

学校長：久保知一（中央大学）

運営委員：河股 久司（日本大学），権 純鎬（神奈川大学），西川 みな美（文教大学），堀口 哲生（東洋大学），西 大輔（拓殖大学），戸田 裕美子（明治大学）